

特

集

ジェンダーを考える



～無意識の偏見や思い込みに気づく～

「アンコンシャス・バイアス」このことは、ご存じですか？

アンコンシャス・バイアスとは、日本語で「無意識の偏見や思い込み」などと表現され、これまでの経験や聞きしてきたことなどから生み出されています。

その中でも性別に関する先入観や固定概念はジェンダーバイアスと呼ばれ、固定的な性別役割分担意識を助長する思い込みの一つで、男女共同参画を推進する上での障壁になっているといわれています。これまでの取組により、固定的な性別役割分担意識や女性の地位向上に一定の改善の兆候は感じられるものの、依然として不平等感が根強く残っているなど、社会全体が男女平等に向けて大きく進んでいるとは言えない状況です。



思い込んでいませんか！



次の職業について、どのような人を思い浮かべますか？

パイロット



医師



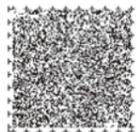
看護師



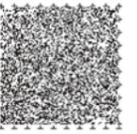
「子育てをしている人」といえば、
どのような人を想像しますか？



性別や学歴、世代などの属性に対する先入観や固定概念によって「型にはめて」決めつけていませんか？



誰もが持っている無意識の偏見や思い込み



「アンコンシャス・バイアス」は無意識に私たちの行動や判断に影響を及ぼすものですが、誰もが持っており、完全になくすことは難しいと言われています。あなたが無意識にした行動や判断が、時には周りの人を困らせていることがあるかもしれません。

学校・家庭・職場などで、こんな言葉を聞いたことはありませんか？

男性は理系（数学・理科）が得意で、女性には理系が苦手（文系が得意）

男性は運動が得意で、女性には運動が苦手

我が社の経営方針を発表します。

どんな人が喋っていると思いますか？

無意識の偏見や思い込みを解消するためにできること

アンコンシャス・バイアスは、相手に対するものもあれば、自分自身に対するものもあります。無意識がゆえに気づきにくく、本能でもあるため完全になくすことはできませんが、このことに気づこうと意識することで、モノの見方や、とらえ方が変わったり、一歩踏み出してみようという勇気ももてたりと変化がおとずれます。

「普通はこうだ」「こうあるべきだ」などの決めつけの言葉や押しつけの言葉は、アンコンシャス・バイアスに気づくヒントとなるかもしれません。

一人ひとりがその時々と向かい合うことを大切にしていきましょう。

一人ひとりを尊重し
誰もが活躍できる社会に！！

